

## 手先がどんどん器用になる時期です

からだのバランス能力が高くなってくると、なわとび、鉄棒など道具を使って遊ぶことが増えます。手先が器用になってくるため、ハサミを使えるようになりますし、お絵かきや粘土など興味があることにじっくりと取り組み始めることもあるでしょう。

着替えやトイレ、洗顔、歯磨きといった生活習慣は、かなりできるようになってきます。手助けしながら、自分からするようにながしていきましょう。また、簡単なお手伝いも出来るようになり、年下の子のお世話をする場面が出てくるかもしれません。そのような時こそ、お子さんが力を発揮できるように意識してあげてください。

☑チェック  
してみよう

### ご家庭ではこんなことに気をつけましょう

安全についてお子さんにきちんと教える必要がある時期です。

- 「危ないから」とハサミやナイフを使わせないのは逆効果です。大人がそばについて、一緒に使いながら、手先や道具を使う楽しさと安全な使い方を伝えましょう。
- 子どもが危ういことをしそうになっている時には、「ダメ」と叱るだけではなく、**大人が手本を示しながら危険や安全について教えていきましょう。**
- 自動車に乗る際は、必ず、チャイルドシートを着用するようにし、「お母さん、お父さんはシートベルト、自分はチャイルドシート」という指定席の意識を育てましょう。**自動車乗車時は、お子さんが嫌がっても、チャイルドシートはいつでも使用しなければなりません。**
- チャイルドシートはお子さんの体格に合っているものを選んでください。「乳児用」は体重13kg未満で身長70cm以下、「幼児用」は体重9～18kgで身長65～100cm、「学童用」は体重15～36kgで身長135cm以下が基準となっています。



### 保育所で気をつけていること

- ※ 身のまわりのことは、自分で出来ることが増えてきました。できないところは援助しつつ、**手を出しすぎないように気をつけています。様子を見守りながら、難しい時は「先生手伝ってもいい？」と聞き、頑張る姿を認めています。**
- ※ ハサミを使うときは、一人ずつ行い、危険がないように見守ります。ハサミの使い方は、保育者が言葉で説明し実際の使い方を見せ、友だち同士で確認し合いながら安全に使えるようにしていきます。

お家にあるもので  
簡単に！すぐ出来る！

# 小麦粉粘土で遊ぼう！

小麦粉粘土は、良く練りこむと人肌の感触と似ており、触っているだけでも気持ち良く、安心感がもてる粘土です。指先を使いながら、楽しく遊べます。

※遊べる期間は約1週間です。冷蔵庫で保存すると、長持ちします。

## 《材料》

- 小麦粉…500g
- 水…200cc
- 塩…小さじ2  
(腐るのを遅らせるため  
夏場は少し多めに)
- サラダ油…小さじ1  
(練りこむ時のべたつきを少なくする)
- 食紅や絵の具  
(あると、遊びのバリエーションが増え  
楽しめます)



## 《作り方》

- ①ボウルに小麦粉と塩を入れ、よくかき混ぜる。
  - ②水を少しずつ加えながらこねる。
  - ③ある程度まとまってきたら、ボウルから取り出してこねる。
  - ④手のひらにサラダ油をのせのばしてから粘土になじませて練る。
- ※小麦粉アレルギーをお持ちのお子さんはやらないようにしましょう。



丸めてストローに刺して、キャンディーに見立てて…

マカロニやビーズを埋め込んで…つまんで、埋めての指先の運動にもなります！



## わらべうたで遊ぼう！

① なべなべそこぬけ  
そこがぬけたら



つないだ手を大きく左右に振る。

③ なべなべそこぬけ  
そこがぬけたら

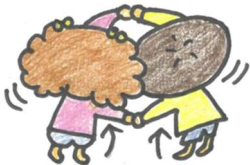


背中合わせのまま、つないだ手を大きく左右に振る。



なべ なべ そこぬけ そこがぬけたら かえりましょ

② かえりましょ



つないだ片方の手を上げ、輪の中を2人でくぐって背中合わせになる。

④ かえりましょ



つないだ片方の手を上げ、輪の中を2人でくぐって元に戻る。

## 「ひとりでする」を見守りましょう

手先がずいぶん器用になり、着脱やトイレなどほとんど自分で出来るようになります。「自分でできた」という満足感が得られると、子どもの自信につながります。自信がつくと、なんでも挑戦してみようという心が生まれます。時間がない時や忙しい時など、つい大人が先回りしてやってしまいがちですが、出来るだけ、自分でしようとする姿を見守ってあげてくださいね。その一方で、お子さんが「手伝って」と頼ってきた時には存分に助けてあげてくださいね。



## 《読み聞かせにいかがですか？》



「かばくん」 福音館書店  
動物園に住んでいる「のんびり」「ゆったり」なかばくんのお話です。親子で読んだら、なんだか気持ちがのんびりゆったり…心が休まる絵本です。



「大きなかぶ」 福音館書店  
とても有名なロシアの民話のお話です。「うんとこしょ…どっこいしょ!!」のかけ声を、親子で一緒にやってみるのも楽しいですね。